

第 25 回 東京女子医科大学病院認定再生医療等委員会 議事要旨

○日時：令和 7 年 8 月 7 日（木）19：00～21：00

○場所：リモート会議

○委員：（再生医療）委員長 小林 博人（設置者との利害関係：あり、申請者との利害関係：あり）

（再生医療）谷 憲三朗（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

（再生医療）高橋 聡（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

（臨床医師）江川 裕人（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

（臨床医師）大野 智（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

（生命倫理）掛江 直子（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

（一般の者）大野 ひろみ（設置者との利害関係：なし、申請者との利害関係：なし）

○欠席者：なし

○議題：【審査番号：2502】

自家多血小板血漿（自家 PRP）注入による靱帯・腱付着部炎治療

（提供計画書番号 01C ）

（新規申請）（申請書受領日：2025 年 7 月 15 日）

申請者：小田虎賢（東京女子医科大学病院 整形外科 助教）

技術専門員：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング輸血部 准教授）

技術専門員：高木博（東京女子医科大学附属足立医療センター 整形外科 教授）

○議事：整形外科から新規提供計画の説明があり、委員からの質疑が行われた。その結果、下記を委員会として求め、本案件は「継続審査」との結論が得られた。

1. 個人情報の取り扱いについて、治療（自費診療）として申請されているため診療で得られる情報は暗号化等の付番を行い別途管理するのではなく、通常の保険診療と同様に基本的にはすべて電子カルテに取り込み管理すべきであり、学会等での報告を行う際には院内の手続きに従い電子カルテから個人が特定されないように情報を抽出する方法が一般的であることから、そのような管理方法に変更し、提供計画書と患者説明同意文書を修正すること。また、患者説明同意文書には、「学会発表等の際には、院内規定を守った上で、個人を特定する内容はわからないように情報を利用させていただきます」と記載すること。
2. 症状や投与部位に対する PRP の投与量（血小板数）の妥当性について、科学的根拠も含めて明記すること。

以上、2 点を修正し、再度審査を受けること。

○審査結果：継続審査

以上